

10月14日(火)

3 商工会議所（新潟・新津・亀田）合同で 新潟市の政策に対する要望書を提出

当所と新津、亀田の3商工会議所は合同で、中原八一・新潟市長並びに小野清一郎・新潟市議会議長に対し、「令和8年度新潟市の政策に対する要望書」を提出しました。要望書を受け取った中原市長は「本日の要望を踏まえ、政策の実施に向けてできるところからしっかりと取組ませていただきたい」と述べました。（重点要望は以下の通り）

I. 地域中小企業・小規模事業者の持続的発展・生産性向上に向けた支援策の充実・強化

1. 中小企業・小規模事業者への支援策の強化と地域活性化のための対策予算の拡充
2. 地元建設業者への優先発注等の支援
3. 中小企業・小規模事業者のDX推進
4. 事業継続計画（BCP）の策定の推進
5. スタートアップ支援も含めた創業支援策の拡充・強化
6. 事業継承対策や引継支援策の拡充・強化
7. 資金調達の円滑化に向けた金融支援
8. 生産性向上に向けた中小企業等経営強化法の周知及び活用促進
9. 地域の雇用創出に向け積極的に取り組む企業に対する支援強化・拡充
10. 産学官金連携による地域産業の活性化
11. 市産品の販路開拓に対する支援
12. 国家戦略特区の効果を活かした地域の新しい価値の創出
13. 固定資産税及び事業所税における中小企業への税制面の見直し及び軽減



左から新津 前田会頭、新潟 福田会頭、中原市長、亀田 五十嵐会頭

II. まちづくりの推進及び交流人口の増加に向けた対応強化

1. 古町・本町地区における活性化策の推進
2. 中心市街地の居住人口及び就労人口増加に向けた支援
3. 「古町芸妓」・「古町花街」の存続に向けた支援体制の強化
4. 中心市街地及び地域商店街の魅力づくりに向けた総合的支援施策の強化
5. 「にいがた2km」における活性化策の推進

※要望書の詳しい内容は当所HP（下記QR）をご覧ください。



III. 政令指定都市・新潟の拠点性向上に向けた積極的な対応

1. 拠点性を高める大規模開発を可能とする積極的な土地利用の展開
2. 新潟港の活性化
3. 新潟空港の活性化
4. 新潟駅の周辺整備事業の促進
5. 地域の魅力発信及び観光振興施策の推進
6. 都市内交通の充実
7. 災害に強い安心・安全なまちづくりの推進
8. 社会資本整備の充実及び公共事業・公共投資の拡充強化
9. 賑わい創出による地域活性化に向けた支援強化
10. 国際都市として飛躍するための国際経済交流の推進
11. 2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて
12. 地域経済発展に向けたSDGsへの取組と機運醸成

キレイにするならおまかせ下さい

- レンタルモップ
- ロゴ入りマット
- タオル、芳香剤
- 空気清浄機
- レンタル浄水器
- 洗剤、おそうじ用品

タスキン万代

〒950-0908 新潟市中央区幸西4-3-28 ☎(025)241-6141(代)

心と技術で明日を創る

菱電社

最新機器の販売と高品質なシステムで、お客様の事業発展に貢献します。

FAシステム/計測システム/ビルシステム/社会システム/交通システム/ソリューション技術

10月22日(水)、10月27日(月)

にいがた市民の快適な暮らしに向けた提言書を提出 ～新潟活性化委員会（長谷川克弥委員長）～

新潟活性化委員会は10月22日、新潟市に対し「これからのにいがた市民のより快適な暮らしに向けた提言書」を提出しました。当委員会は令和4年から、提言書の提出を目標に活動を開始し、新潟の歴史やインフラ整備の経緯などを学ぶ勉強会や、最先端の取組を行う地域・国の事例を学び、議論を重ねてきました。



左から廣田副会頭（現会頭）、井崎副市長、長谷川委員長

提言書には、人口減少に伴う地域のまちづくりや都市機能の再配置、移動手段の強化、新潟の食の発信強化やブランド戦略、防災庁の誘致をはじめとする防災・災害支援基地No.1新潟市の実現に向けた内容などが盛り込まれています。

提言書を受け取った井崎副市長は、「インバウンド対応や若者誘致の取り組みを通じて地域の魅力を高めていく重要性や、防災面での安心・安全の強化の必要性を感じている。担当部署にも共有し、一緒に政策を進めていきたい」と述べました。

また、10月27日には小野清一郎・新潟市議会義長にも同提言書を提出しました。

提言書の全文は当所HP（下記QR）よりご覧いただけます。



9月18日(木) / 参加者26名



ナミックス(株)本社にて

ナミックス新生産棟を視察 工業部会（小田嶋壽信部会長）

工業部会では視察見学会を開催し、ナミックス(株)本社・工場を見学しました。

初めに工業部会長でもある小田嶋社長より、一般塗料製造会社としての創業から現在に至るまでの歴史や、社名に込められた企業理念について説明を受けた後、グループに分かれ新本社屋内を見学し、自然光を活用した省エネ設計や太陽光パネルの設置などについて説明を受けました。

視察後には、さくら亭（奥次郎）にて懇親会を行い部会員相互の親交を深めました。

【旅行】9月26日(金)～27日(土) / 参加者15名、【ゴルフ大会】10月10日(金) / 参加者12名



（旅行）伊勢神宮外宮にて （ゴルフ大会）表彰式の様子

商工クラブ秋の旅行・第50回ゴルフ大会開催

伊勢神宮参拝を中心とした秋の旅行では、内宮、外宮の御正殿の垣内での参拝や神楽舞奉納などの特別参拝を体験し、参加者は神宮の伝統や歴史などを学びました。

また、50回目を迎えたゴルフ大会では、紫雲ゴルフ倶楽部にて参加者が腕を競いました。競技の結果は、優勝：坂井浩一氏（新潟舗材(株)）、準優勝：坂上浩則氏（福田道路(株)）、第3位：齋藤昌昭氏（(株)植木組新潟支店）でした。プレー後は表彰式を開催し、順位発表や抽選会など楽しいひとときを過ごしました。

9月29日(月) / 参加者29名



多田氏による講演の様子

「推し活」が生むビジネスチャンスを学ぶ 商業部会（和田晋弥部会長）

㈱Oshicoco代表取締役の多田 夏帆 氏を講師に、「『推し活』マーケティング成功法」と題し講演会を開催しました。

近年、推し活がライフスタイルや価値観の一部として定着し、エンターテインメント市場を中心に個人の消費行動に影響を及ぼしていることを解説しました。

一般企業にとっても新たなビジネスチャンスがあるとし、推し活との関連性を活かしたカラー商品などで参入して売上向上に成功した事例を紹介しました。

9月29日(月) / 参加者25名



唐橋氏による講演会の様子

「不動産市場を取り巻く経済・金融市場の動向」を学ぶ 建設・不動産部会（本間達郎部会長）

第四北越リサーチ&コンサルティングの唐橋 浩輔 氏を講師に迎え、「不動産市場を取り巻く経済・金融市場の動向と今後の見通し」をテーマに、講演会を開催しました。

唐橋氏は、県内の地価は30年連続下落の一方で、スキーリゾート地高騰や新潟駅周辺開発により持ち直しの動きが見られ、他都市に追いつけるかが焦点だと述べました。

また、県内企業の景況感は物価高や人手不足の影響により回復基調ながらも、やや悪化したことや、日銀の利上げ示唆や長期金利高まりにより、企業向け貸出金利も上昇していると話しました。

さらに、最大の課題は人口減少であり、これが地価の二極化や空き家問題を加速させていることから、地域外の人や企業を呼び込むことにより、雇用創出と持続的な地域発展を目指す必要があると説明しました。

9月29日(月) / 参加者38名



岩倉氏によるセミナーの様子

おもてなしの心について学ぶ 観光部会（星野佳人部会長）

JALビジネスサポートアドバイザー、前任客室乗務員の岩倉 恵美 氏を講師に、「おもてなしの心の実践セミナー」を開催しました。

岩倉氏は、おもてなしとは“相手を思いやる気持ちを伝えるように表現すること”であり、相手に関心をはらい察する力を鍛えることで、心に残るサービスを提供できると説明しました。

また、お客様を自身の家族のように思いやる気持ちと、冷静なプロとしての視点を両立する「2.5人称の視点」を持った業務の取り組み方を、事例を交えて紹介しました。

10月2日(木)～3日(金) / 参加者7名



川崎市子ども夢パークにて

未来のヒントを探す

～子どもの居場所支援とAI・先端テクノロジーを学ぶ視察見学会～
教育福祉医療部会（渡邊毅部会長）

教育福祉医療部会では視察見学会を開催し、川崎市子ども夢パーク・フリースペースえん、及びライフ・テクノロジー・スタジオ、臨海副都心を見学しました。

川崎市子ども夢パーク・フリースペースえんでは、現代の子供を取り巻く環境やそれに伴う居場所づくりについて説明を受けた後、施設の様子を見学しました。ライフ・テクノロジー・スタジオ、臨海副都心では、セラピー用ロボット「パロ」や創薬支援ベンチワークロボット「まほろ」など、様々な研究成果の展示に触れました。